トップニュース



明治30年8月31日第3種郵便物認可

全国から児童念仏奉仕団928人

子どもたちに本願寺で楽しい夏の思い出を作ってもらいたいと、恒 例の児童念仏奉仕団が7月24日から8月6日まで本山で行われた。1 泊2日の日程で5回実施、のべ31団体928人(引率者含む)が参加した。 今年度最多となる410人(11団体)が参加したのは7月29日からの回。 最初のオリエンテーションでは各団体の代表児童が自己紹介。地元の 名所や特産品、日頃の子ども会活動の様子などとともに、「おつとめ や奉仕を通して仏さまの教えを学び、全国の仲間との交流を深めたい」

「夏休みのいい思い出にしたい」などと意気込みを発表すると温かい

i真宗と出遇った。
対大学(東京)で仏

た一つに『ス

切の生きと

幸福であ

4出会いを語る。

戦後80年。

ような迫力がある」 と貴重

"魂"がこもっている

強さ。

サイズ:20×17.2×0.3cm

御影堂での開会式の後は、堂内に広がって清掃奉仕。子どもたちは 同じ団体の友だちと列になって外陣の畳をから拭きしたり、縁側や向 | 拝の階段、欄干などを拭いて(写真) 、真っ黒になったぞうきんを満 足そうに見ていた。また、ご門主との記念撮影・ご面接もあった。

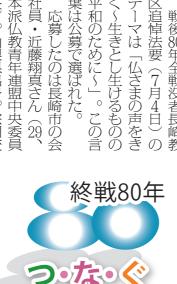
2日間ともに京都市内の最高気温が40度に迫る猛暑日。本山職員や スタッフの学生らは、子どもたちにこまめな水分補給を促すなど体調 管理に十分気を配りながら、境内のクイズラリーや腕輪念珠作りなど をサポートしていた。

児童念仏奉仕団の参加者のうち111人が晨朝後の帰敬式を受けた。

石者にも平和へのメッ どうすれば同世 攻として平 にろうと考え 戦後80年

かある。これが仏教の基」というお釈迦さまの言 仏さまの声をきく 生きとし生けるものの 平和のために

拍手が送られた。



仏さまの声をき(7月4日)の



源寺さん(長崎市)で、年ある。「よくお参りする光あり、長崎には強い思いが 生命力と平和への強い かあった。その語りから伝 源寺さん(長崎市) きた。近藤さんにとって長 っかけで仏青活動に縁がで 崎で、 長崎教堂 筆のご門徒から被爆体験を 代を生き抜いてきた力強い 聞かせてもらう機会が何 わってくるのは、 に偶然立ち寄ったことがき 「第二のふるさと」 、戦争の (諫早市)

事なのだと思う」 界に広がっていくことが大 れている。だから仏教が世 外のすべての命にも向けら 仏さまのまなざしは人間以 も届けられている。そして、 契機になったという。 戦争の歴史や平和への道筋 べての命に向けられて 「阿弥陀さまの 仏さまに手を合わせる 仏教と向き合う 戦火にいる

追悼法要に参拝する近藤翔真さん

長崎 近藤翔真さ(仏青連盟中央委員長)

同 ツ

本願寺新報 hongwanji journal

9月1日(月曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺) 〒600-8501

電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753



岡市早良区曜2丁目7番13号 0000120-168-940

今号の紙面

8月15日に本山で戦没者法要…2 8月大雨で各地に被害……2



みんなの法話………4 学ぶ親鸞聖人 ご生涯×教え…5 お釈迦さまの前世物語………3 季節の養生と薬膳………3 本願寺インスタ倶楽部……3 読者のひろば………7



以前、若手落語家がこんな小噺を していた。「神社の鳥居はなぜ赤い のだろうか…」。きっと深いワケが あるに違いない。そう思って聞いて

いた。しかし、落語家の答えは「それは、赤いペン キで塗ったから」。その答えの意外さが面白いと思

- ▼続いてはアメリカでの自転車泥棒の話。アメリカ では自転車を泥棒する者がいないという。奇異なこ とに自転車を盗むのではなく、自転車のハンドルだ け盗んでいく。なぜか? アメリカでは、ハンドル を2つお店に持参していくと1ドルくれるからだそ うだ。ハンドルとハンドルで1ドル。ここにも人間 の予定概念を外す面白さがある。
- ▼どうも人間というのは、計算通りに進むことを理 想としているにもかかわらず、予定外の事柄や出来 事の中に、感動や面白さ、喜びを見いだす生き物の ように思えるのだが、いかがだろうか。仏教の言葉 で「有り難し」という言葉がある。浄土真宗では特 によく用いられる言葉でもある。「有ること難し」。 そんなことにであえた喜びが「ありがとう」の声と
- ▼人から「有り難し」「有ること難し」とそう思え などと言われると、説教じみて敬遠したくなるのだ が、ごくごく当たり前の日常の日々を「有り難し」 と見ていけたら、どんなに感動的で豊かな生活だろ うかと思う。人生をつまらなくさせているのは、自 分自身だということだろう。

購読料 1部120円(年間4,080円) 定期休刊 7月10日、12月10日 浄土真宗本願寺派 代表電話 宗務所 075(371)5181/大谷本廟 075(531)4171

宗派公式Webサイト https://www.hongwanji.or.jp 本願寺ホームページ https://www.hongwanji.kyoto

華遇記

DAIJO法話



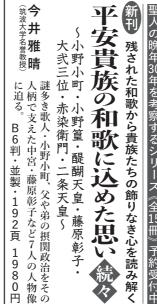
えてくださった思いを、

た』と言われないように、



セルロース & コットン 100% 天然素材





八十五歳の親鸞

*価格はすべて税込 *送料・発送手数料:ご注文合計6,600円未満=一律400円、6,600円以上=無料

帰京後の親鸞 12

年間購読料 4,500円 (税·送料込) 1冊 375円 (税·送料込)

本日発売!

毎月1日発行

B5判/80ページ



ご機言!お寺の掲示板 ·····江田 智昭 ● 結婚してお坊さんになりました

--≪≫≫※ 好評連載 ※◎>>>--

みのりのエッセー

大乗 ほうわ・HOWA・法話

……森田 眞照

方600-850 京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺

一本願寺出版社